

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 4日 更新

| | | | | | | | | |
|---------|------|--|-----------------|-----|--|---|------|--|
| 事務事業名 | | 後期高齢者保健事業 | | | <input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 2 | 福祉の健幸 | | 所属部 | 健康福祉部 | 課長名 | 中嶋 繁之 |
| | 施策 | 6 | 健康づくりの推進 | | 所属課 | 健康ほけん課 | 担当者名 | 福井 由紀 |
| | 業務分野 | 21 | 病気になるらない生活習慣の確立 | | 所属班 | 健康づくり班 | (内線) | 1183 |
| 予算科目 | | 会計一般 | 款 3 | 項 1 | 目 13 | 事業連番 11625 | 法令根拠 | 高齢者の医療の確保に関する法律 熊本県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例 |
| 終了、開始年度 | | <input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始 | | | 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度) | | |

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

| | |
|---|--|
| 【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む) | 後期高齢者被保険者の健康維持、病気等の早期発見のため、健診事業、人間ドック検診費用助成を実施。 【健診】被保険者の自己負担800円で健康診査を行う。(健診費用は広域連合負担) 後期高齢者健診事業を広域連合から受託し、健診等の保健事業を医療機関に委託して行っている。 【人間ドック】検診費用の10分の7以内で25,000円を限度(うち健診費用分は広域連合補助) 国保で人間ドック助成があるのに、後期高齢では助成がないということで、被保険者から要望がでていたこともあり、広域連合の補助事業を利用して平成26年度から後期の人間ドック助成事業を開始した(広域連合補助25,000円)。R2年度以降は、広域連合補助は健診費用分のみとなり、差額は市負担となった。 【はり・きゆう】はり・きゆうの助成事業はR3年度から内容が保健事業ではなく医療費の助成に近いことから鍼灸費助成事業へ移行した。 |
| 【業務の流れ】 | 【健診】熊本県医師会、医療機関との協議・契約。問診票発送、受診日調整や健診結果の説明、国保連への健診費用等の支払と広域連合への請求等。 【人間ドック】医療機関との協議・契約。受診希望者募集(周知・決定)。広域連合へ請求等。 |
| 【主な予算費目】 | 職員手当等、印刷製本費、役員費、委託料、使用料及び賃借料 |

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

後期高齢被保険者の健康維持、病気等の早期発見のため、健康診査、人間ドック検診助成、歯科口腔健診を実施した。
 【実績】後期高齢者健康診査1,045人、人間ドック268人、歯科口腔健診35人

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

受診率向上のため、健診の周知や受診勧奨を行なう。

③予算の主な増減の理由

後期高齢者医療被保険者の増加による、人間ドック及び後期高齢者健診委託料の増

成果指標

ア 合志市の一人当たりの後期高齢者医療費

(単位)

データ取得方法

円 広域連合作成 当初予算案資料の療養給付費見込額と、療養給付費内訳表(市町村別後期高齢者医療費の状況)より

(2)成果指標・総事業費の推移

| 成果指標 | 単位 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 |
|----------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 実績(決算) | 実績(決算) | 目標(当初予算) | 実績(決算) | 目標(当初予算) | 予定 | 見込 | 見込 |
| ア | 円 | 964,431 | 1,034,576 | 1,002,000 | 1,007,666 | 1,002,000 | 1,002,000 | 1,002,000 | 1,002,000 |
| イ | | | | | | | | | |
| ウ | | | | | | | | | |
| 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | 都道府県支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | 地方債 | 千円 | | | | | | | |
| | その他 | 千円 | 8,766 | 11,309 | 14,000 | 11,899 | 13,020 | 13,180 | 13,340 |
| | 繰入金 | 千円 | | | | | | | |
| | 一般財源 | 千円 | 4,209 | 4,000 | 5,131 | 5,502 | 5,062 | 5,232 | 5,402 |
| (A) 事業費計 | 千円 | 12,975 | 15,309 | 19,131 | 17,401 | 18,082 | 18,412 | 18,742 | 19,072 |

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

重症化予防や健診受診による疾病の早期発見のため、今後も医療機関と連携し、健診の周知や受診勧奨を行っていく必要がある。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)